

## 学位論文審査基準（大学院理工学研究科博士前期課程）

### 理学専攻

- (a) 研究テーマの妥当性：研究テーマは、新規性、進歩性、有用性、独創性、レビューとしての価値、のいずれかを持っていること。
- (b) 情報収集能力：研究分野の動向を十分に把握し、研究の位置づけが明確であること。
- (c) 問題分析能力：合理的なデータ分析や議論に基づいて考察し、適切な結論が導かれていること。
- (d) 研究遂行能力：十分な調査、実験、計算等がなされ、それ等の結果が明確に示されていること。
- (e) 論文作成能力：論文の構成が適切で、記述が論理的であること。

### 数理学専攻

- (a) 研究テーマの妥当性：学位論文は新規性、独創性、学術的有用性のいずれかを備えていること。
- (b) 情報収集能力：文献調査を通して、適切な文献が引用されていること。
- (c) 研究遂行能力：理論的な展開や計算が適切に行われていること。
- (d) 論文作成能力：論文の体裁が整っており、記述が論理的であること。

### 物理学専攻

- (a) 研究テーマの妥当性：研究テーマは、新規性、進歩性、有用性、独創性、レビューとしての価値、のいずれかを持っていること。
- (b) 情報収集能力：十分な文献や研究動向の調査を行い、自分の研究の意義や重要度と他研究との関連性や相違を理解できること。
- (c) 問題分析能力：問題の分析に基づいた実験方法・解析手法や数学モデルの設定など、アプローチ方法は適切であること。
- (d) 研究遂行能力：実験、理論計算において、論理展開が適切に遂行できること、また、その結果から新たな知見を見出すことができること。
- (e) 論文作成能力：論文の体裁が整い、論理的な記述が適切になされていること。

### 物質生命化学専攻

- (a) 研究テーマの妥当性：研究テーマに新規性、進歩性、独創性、有用性のいずれかを有すること。
- (b) 情報収集能力：当該研究分野の動向を十分に把握し、研究の位置づけが明確であること。
- (c) 研究遂行能力：十分な調査、実験、計算等がなされ、それ等の結果が明確に示されていること。
- (d) 問題分析能力：合理的なデータ分析や議論に基づいて考察し、適切な結論が導かれていること。
- (e) 論文作成能力：論文の構成が適切で、記述が論理的であること。

## 生物学専攻

- (a) 研究課題・内容の妥当性：研究課題が明確で，研究内容に新規性，進歩性，有用性，独創性，一貫性が認められること。
- (b) 研究遂行能力：研究課題に対して適切な研究方法を選択し，得られた結果から適切な論議を経て，結論を導いていること。
- (c) 論文作成能力：科学論文の形式に従い，日本語および英語により，論旨を論理的かつ明確に記述していること。

## 地球環境学専攻

- (a) 研究テーマの妥当性：研究テーマは，新規性，発展性，独創性のいずれかを持っていること。
- (b) 情報収集能力：十分な文献や研究動向の調査が行われていること。
- (c) 問題分析能力：研究テーマから導かれる問題を分析できていること。調査地域の選定，実験方法・解析手法・モデルの設定などで，分析に基づいた適切なアプローチ方法が選択されていること。
- (d) 研究遂行能力：調査・実験・データ解析等，研究課題が適切に遂行できていること。調査・実験・解析結果から新たな知見を見いだすことができていること。
- (e) 論文作成能力：科学・技術文章作成のルールに従った科学的な文章で書かれていること。科学論文の標準的な構成に沿って書かれていること。
- (f) 英文作成能力：アブストラクトが適切な英語で書かれていること。